

新年

富士見町長 小林一彦



平成二十六年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。昨年八月、二期目の町長再選をいただき、町発展のため一期目に増して全力を尽くす覚悟であります。

国政ではアベノミクスが定着しつつあり、地域への経済効果波及の兆しが少しずつ見え始めました。昨年は春の寒波、夏の猛暑、多数の台風と自然威力を見せつけられた年でしたが、幸運にも富士見町の被害は最小限に収まり、農作物も平年を上回りました。また、注目されたメガソーラーも無事完成し、予定を上回る発電量を記録し、町の有力な財源となると同時に「自然エネルギーの町・富士見」をアピールできると期待しています。

二期目では、富士見町が苦しんでいる少子高齢化、人口減少問題に大胆に挑戦し反転させ、新たな発展の道を切り開きたいと強い決意で構想を作っています。さらに今後、国や県にも大きなご支援をいただきながら、発展の具体化に取り組みます。ぜひ、町民の皆さまからのご支援をよろしくお願ひいたします。

写真：役場庁舎より望む富士山

謹

賀



富士見町議会議長 織田昭雄

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、夢と希望に満ちた平成二十六年の新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年五月に二期目となります議会議長に就任し、早くも七カ月が過ぎました。町民の皆さまに、より身近な議会、開かれた議会を目指して足元から見つめなおし、町民の皆さまの信託に応えてまいりたいと改めて決意をし、議論を重ね、昨年十一月八日に第一回の議会報告会を開催することができました。この結果につきましては、当日会場でいただいた貴重なご意見やアンケートを参考に、内容も見直して毎年定期的な開催を目指します。

町議会としても、今後さらに多くの町民の皆さまと対話を重ね意見をお聞きして、執行機関とお互いに切磋琢磨しながら、主役は町民の皆さまである町づくりのDNAを議会と行政が継続して引き継ぐことこそが結果を出せるものであると心得て、「住んでよかつた町」「住んでみたい町」と思われる町づくりの実現に向けて鋭意努力をして邁進いたします。

町民の皆さまにとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げるとともに、今後も一層のご支援ご協力を受け賜ります様お願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

